

著名作家も信頼を寄せる、プロの業を学びませんか？

# ベテラン校閲部長が紐解く **校閲** の勘所 初級編

校正、もしくは校閲というと、一見、字の間違いを直すだけの地味で単調な作業のようですが、実は、多岐に亘る知識・情報を駆使しつつ臨機応変な判断力を要する、なかなか創造的で刺激的な仕事です。書き手との一対一の真剣勝負！ といった緊張感を覚えつつ仕事に当たります。

そしてまた、技術の習得に限界がないことも特徴です。いつまでも成長していけると裏腹に、いつまで経っても完成したとは言えない。むしろ経験を積み重ねれば積むほど自身の未熟さを思い知ることになる、奥の深い仕事と言えるでしょう。

気付けば私は、もう20年以上も校閲という仕事に携わってきています。謙遜でなく未だに自分の能力の足りなさを思い知らされることばかりですが、経験から学んだことくらいはお話できるかと思っています。

出版物の誤りに類型はありません。日々、新たな種類の間違いに遭遇します。校閲者は文章をどのように見て、どうやってミスを防ぐのか、どのような知識・情報が役に立つのか、そのノウハウの一端をお伝えできればと思います。

奥野 仁

## — 主な講義内容（予定） —

- ・校閲ってどんな見方をするもの？～校正と校閲のちがい、編集者との見方のちがい
- ・校閲者の職人芸「引き合わせ」って何？
- ・90パーセント間違いでも校閲者が赤字にしない理由とは？

- ・間違っって書かれやすい表記
- ・間違っって使われやすい表記
- ・間違っって使われやすい表現
- ・注意すべきかなづかい
- ・数字の推奨表記
- ・適当でないカタカナ表記
- ・送りがなの取り扱い
- ・漢字をひらく、またはルビ付けをする
- ・知識への過信の怖さ、調べものの重要性
- ・とっっても怖い差別表現の落とし穴
- ・懺悔の時、校閲部長が落ちた忘れられない落とし穴
- ・実際に校閲をやってみよう！（実習）
- ・質疑応答
- ・語ろう！ 社を越え、部署を越え！（第二部懇親会）

※進行の都合により内容が変更される場合があります

講師

## 奥野 仁 氏

(おくの・ひとし)

講談社 校閲部長

1972年生まれ。

立教大学法学部法学科卒。1995年4月、講談社に校閲職で採用となる。以後、校閲部内でローテにより様々な雑誌・書籍を担当。2009年より、部長としてマネジメントを掌る傍ら、学芸書籍、文芸書籍、パートワークなどを適宜担当、現在に至る。



日時：2017年9月14日（木）14:00~17:00

（懇親会は17:00~18:30）

場所：日本出版クラブ 鳳凰の間

新宿区袋町6（都営大江戸線 牛込神楽坂駅徒歩2分）  
アクセスマップ [http://www.shuppan-club.jp/?page\\_id=12](http://www.shuppan-club.jp/?page_id=12)

TEL 03-3260-5271 FAX 03-3267-6095

定員：80名（申込順 定員になり次第締切ります）

受付メールの送信により、お申込み完了とさせていただきます。

参加費：6,000円（出版クラブ会員社以外は8,000円）

懇親会参加無料

<当日支払> 受付にてお名刺を一枚頂戴いたします  
会員社一覧 [http://www.shuppan-club.jp/?page\\_id=76](http://www.shuppan-club.jp/?page_id=76)

**申込書** 必要事項をご記入の上、FAX 送信または下記担当アドレスへメールにてお申込み下さい。

e-mail : sugiyama@shuppan-club.jp

会社名	部署名			役職
住所	〒			
電話		e-mail	@	
受講者名	お申込受付の御連絡を e-mail にてさせていただきます。ご記入をお願いします。			
懇親会	<input type="checkbox"/> 参加		<input type="checkbox"/> 不参加	

**このままFAXでお申込みください**

日本出版クラブ・担当 杉山  
FAX : 03-3267-6095